

(松原養鶏組合)



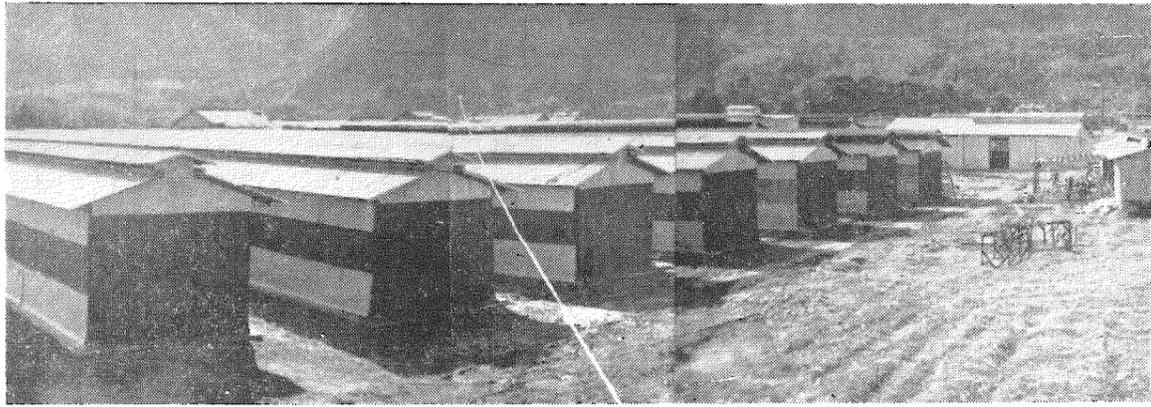
発行所 鹿児島県始良郡始良町役場
 発行人 池田盛孝 編集人 吉井忠夫

(印刷所)
 キング堂印刷所

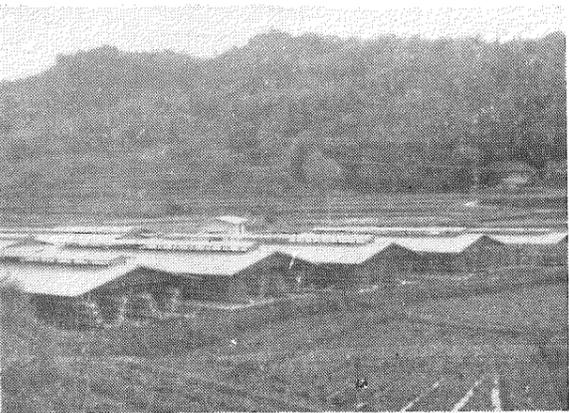
町の人口動態

(7月1日現在)

戸数	6,100戸
人口	男子 10,102人
	女子 11,804人
	合計 21,906人
6月の	出生 25人
	死亡 17人
	転入転出 103人



(大緑養鶏組合) 10,000羽飼養場場所平松



(木津志養鶏組合) 10,000飼養場場所木津志堂園



(中瀬養鶏組合)

昭和39年度

補助事業 四千三百余万円
 融資単独事業 一千百余万円
農業構造改善事業

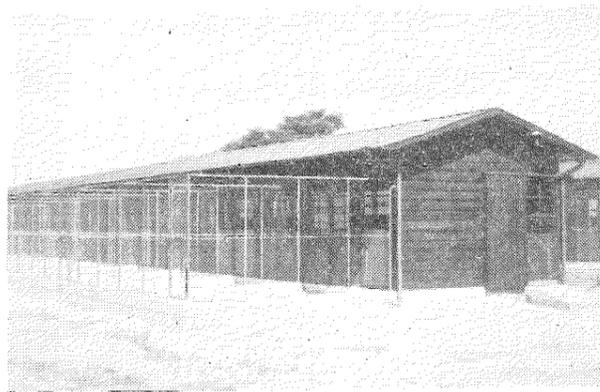
いよいよ本事業も三年目を迎え、合(脇田実良組合長)を平松山ノ農協施設として、重富支所に育きました。今年でこの事業は終わる口に建設、五千羽を収容する松原、すう所を八棟、食鶏処理所を十日ことになり、昨年は37・38年養鶏組合(田口植蔵組合長)を松原町に、集荷所を農協本所脇に、集事業とともに事業をすすめてまいりました。すでに完成し、生産を期待されています。組合(田代盛雄組合長)を北山中に施設いたしました。

37年度事業は、ふらん所、種鶏舎、農協施設、を給津小学校の後面区画整理を行ない、実のりの秋を待ちつつあります。

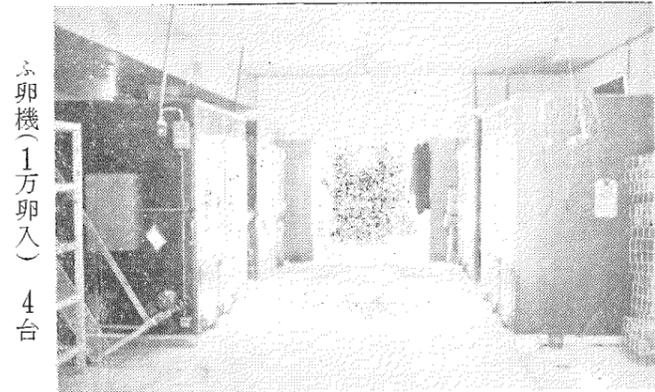
38年度は、高樋松原の約95町の(栗下道雄組合長)を木津志に建設いたしました。39年度の施設関係は下記の表のとおり。

補助融資事業計画

区分	事業種目	実施計画地区名	施行箇所名	事業主体	借受主体	受益範囲		事業量
						戸数	面積	
補	換地計画	始良地区	松原	始良町	始良町農協	248	48.6	48.6
	"	"	高樋	"	"	214	44.91	44.91
	区画整理確定測量	"	松原	"	"	248	48.6	48.6
	"	"	高樋	"	"	214	44.91	44.91
助	小計							
	経営近代化トラクター	"	松原	松原営農改善組合	始良町農協	248		32馬力1台
	"	"	高樋	高樋	"	214		全上
	農機具格納庫	"	松原	松原	"	248		建物1棟
	"	"	高樋	高樋	"	214		全上
	採卵鶏舎	"	深水	豊留養鶏組合	"	6		建物11棟
	"	"	木津志	上脇	"	5		建物17棟
	"	"	"	新開	"	5		全上
	ヒナ配布車	"	東餅田	始良町農協	"	1,000		小型四輪トラック1台
	採卵鶏舎	"	北山	中瀬養鶏組合	"	5		建物1棟
業	"	"	松原	松原	"	5		全上
	鶏ふん乾燥機	"	木津志	木津志	"	5		1台
	"	"	北山	中瀬	"	5		1台
	"	"	松原	松原	"	5		1台
	小計							
融	個人採卵鶏舎	始良地区						40棟
	計							
合	計							



(種鶏舎)



ふ卵機(1万卵入) 4台



(食鶏処理所)

としよりの日

長寿を祝いましょう

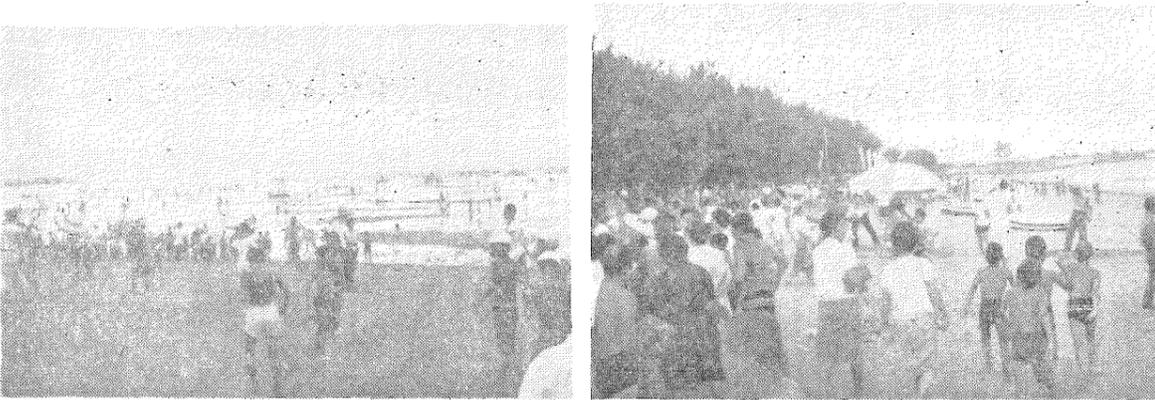
九〇以上が二八名

九月十五日はとしよりの日です。この日は全国各地で、としよりをなぐさめるためのいろいろな行事が行なわれます。

町においても九十才以上の家庭を、知事代理 町長、町婦人会役員の方々が記念品をもって慰問されることになっております。

また部落、校区などでとしよりをなぐさめる行事が行なわれます。

梅山	和山	山口	油屋	原平	野方	寺野	増田	中津野	編部	宇部
91	91	91	94	93	90	90	90	91	91	92
中川原	小宮路カネチヨ	出口チヨ	新町	二見仁製袋	目木金	大山西	内村キヨ	小倉庄吉	田中スエ	新馬場
93	93	92	92	95	91	94	93	94	93	91
新馬場	小長野ケサグイ	山下スエ	春花上	木津志中	新島場	宮原ソノ	宮原市左エ門	山ノ口	西ノ妻	十日町
91	91	93	91	94	96	94	92	90	91	90
十日町	石原フイ	小山西	長吉キヨ	中島チヨゲサ	宮原嘉之丞	西ノ妻	羽追ツルカ	上場	高橋	西ノ妻
91	91	91	91	96	94	90	90	90	90	90



延べ15万を越す盛況

最後の海水浴を楽しみながら

長いと思っていた夏休みも終りました。これまでの生活からいきなり規則正しい生活にもどることは、なかなかむずかしいようです。そこで生活の調子をじょうぶになれさせるように心がけましょう。たいくつしていた子どもたちもひさしぶりに、友だちと会えて、うれしいのですが、長い休みの慣性でなかなか気分がのんかんがしにくいものです。

暑さも、まだきびしいし、休みあけに事故が多いのは、からだになれていないところに、日さかりに下校というわけですから、とてつもない原因のひとつです。

早く規則正しい生活に親にとつてみれば「やれやれ学校がはじまってよかった」と安んじて学校まかせになったり、「さあ、二学期だ、最初がだいじ」と

来年は参議員選挙

名簿もれのないように

九月は基本選挙人名簿作製の月です。公職選挙法によつて毎年九月十五日現在で基本選挙人名簿を調製するようになっております。

町選挙管理委員会では次の方法によつて名簿を調製します。

特に来年は参議院議員の選挙もありませんから選挙人名簿から漏れないように皆さんのご協力をお願いします。

一 調製の方法

ア、あらかじめ住民登録簿、配給台帳、前年度の選挙人名簿などをもとにして仮名簿を作成します。

イ、さらに住民の実態を良く知つておられる小組合長にお願いして「選挙権資格調査票」を各家

有権者の声

一、目的

今日政治や選挙に対する有権者の関心はたいへん深まっています。しかしながら過去における各種

二、名簿調製に関する期日等

ア 調製の現在期日 昭和39年9月15日

イ 調製終了期日 昭和39年10月31日

ウ 縦覧期間 昭和39年11月5日から11月19日まで(15日間)

エ、異議申出期間 縦覧期間内(右15日間)と、異議申出の決定期日 申出を受けた日から20日以内

カ、確定期日 昭和39年12月20日

(町選挙管理委員会)

腹ふくくるの記

鳥 榎子

「井中の蛙、大海を知らず」けだし名詞といふべきであろう。何が蛙であり、何が大海であるか、じっくり考えてみたところである。むろん、政界の綱張り根性への諷刺と見るのも一つの考え方で、それが流行しているものである。米野井戸の中の蛙であることには変わりない。ジョンソンはアメリカに生れ、フルトンはフランスに生れた。ただそれだけのことである。ついに大海を知らざるもの、それ蛙の類のみか。

某高官いわく「愛国心のかんようには青少年が愛するに足る美しい国土をまつ作らなければならぬ」とこの論法でいくと、一挙行するに非ざればならぬ。一挙行するにまつ作らなければならぬ。一挙行するにまつ作らなければならぬ。一挙行するにまつ作らなければならぬ。

労働力調査

豊留 並木・上ノ上部落

この調査は九月末一週間の労働力を調査するものです。

調査の対象として県統計課より指定されています。この調査は本県人口の就業、不就業の状態や農業者の産業構成等を明らかにし、そして県経済の動向を側面から観測し県産業発展の基礎資料となる調査でありますので調査員が調査にまいりましたならば協力をお願いします。

一九六五年中間農業センサス調査

昭和三十九年九月一日現在で調査が行なわれますがこの中間農業センサスは十年目ごとに行なう世界農業センサスの中間に我が国独自の立場で行なう調査で転換期にある日本の農業の現状や農業の動向を明かにしそして農業の構造を総合的に把握し農業の動向を適確にとらえて今後の農政を具体的に企画立案し農業改善の貴重な資料を得るための調査であります。これは始良町全農家に調査員がお伺いいたしますので協力ください。

用は戦前、戦中、戦後を通じて、一向に変わっていないし、しかも日本社会の進歩停滞の一要因がある美しきもの、汝の名は空中楼阁。衣食足つて礼節を知るや、逆また必ずしも真ならざるに愛するは是れ似て非なる愚民政策。君は麦めしを食む吾れは粟粥をすすす。近頃、何となく雨のことは調べていたら、熟語だけで二百数十もあった。それも「はいはいんん」や「やんやん」を除いての話である。英語の辞典にはせいぜい、灰の雨、血の雨、火の雨、涙の雨、電報の雨など科学的なものばかり、中には雨でないものもあり、かぞえるほどしかない。うとうとうしくなりました。まさに「雨の日本」というところである。「雨にいかれた日本」といった方が当たっているかも知れない。雨が文学的情操を培ってきたことは否か。このようにかかるとかある。このようにかかるとかある。このようにかかるとかある。

台風前後の水稲の管理

いままでかかってない長時間の14号台風も各地にめぐりあつたをのこしてさきましたが、さらに九月下旬の二回くらい台風が見えるやりに聞いています。どうか被害を最少限度にとめてください。

「台風前」

台風が近づいて来た場合はもう一度必ず田を見廻ってください。用水の取入口排水口はきちんと開けて、水は深めにためて稲の倒伏を防ぎましょう。

また現在刈り取中の稲は小屋の中にとり入れるか、また掛干しの場合は補強をして倒れるのを防ぎましょう。

風と雨のためせつかく刈り取った稲が流されることあります「台風後」

台風が去った直ちに水田に行ってもし稲が倒伏していた場合はおこしてください。

台風後はシラハガレ病モンガラ

松くい虫をこころそう

本年も松くい虫による被害木が散見されるようになり、特に幼令木に對して多く見受けられるようになりました。これが防除につきましても、武拾万円を計上して徹底防除に努力いたして、おきずで森林所有者の皆様方も早期に防除をされるようお願いいたします。

なお防除の徹底を期するため、ほく減期間を設けましたので、下記により、期間内に完了してくだ

(経済課 林務係長)

病、秋ウシカが発生しやすいので、すから注意してください。刈り取ったあつた稲はうすく広げて早く乾燥して通風乾燥機等を利便して乾燥いたしましょう。

一、ほく減期間 9月10日より9月25日まで(16日間)

一、防除の方法 被害木を切倒し玉切をし集積して、パークサイドによる薬剤防除をする。(剥皮枝等を焼却してもよいが補助金はもらえない)

一、届出、パークサイドによる防除を完了された方は、経済課林務係または森林組合まで届出すること。

一、薬剤の購入、パークサイドの必要の方は森林組合に申出ていただく。

一、補助金松くい虫等防除事業損失補償金パークサイドによる防除を完了された方は、法定の基準に基づき交付する。

一、強制防除についてほく減期間または農林大臣命令による期間中に、防除をされない方は法に基づき防除をいたします。

予約申込みは9月21日までに 39年産米売渡し価格きまる

(水稲硬玄米 1俵60kg価格)

	1等	2等	3等	4等	5等
9月30日迄	6.172円	6.092円	6.012円	5.932円	5.732円
10月10日迄	6.132	6.052	5.972	5.892	5.692
10月20日迄	6.052	5.972	5.892	5.812	5.612
10月21日以降	5.972	5.892	5.812	5.732	5.532

昭和三十八年度より県や町が農村三作運動を推進してきていますが、あらためてこの運動の趣旨を述べ、これを町民運動として強力に展開し、町民の生産と所得の向上を図りたいと思います。

一、趣旨

最近におけるわが国の経済は著しい発展を続け農業と他産業との生産性と所得の格差はますます拡大の傾向にあります。本町の農業は自然の、経済的、社会的にも不利な条件のものに限る。

水稲もち 五二五円
陸稲もち 二七五円

上記からそれぞれ二四〇円を差引いた価格

予約額算金 1俵につき 一、〇〇〇円(支払中)
予約申込みは 9月21日まで

農村三作運動を強力に進めよう

昭和三十八年度より県や町が農村三作運動を推進してきていますが、あらためてこの運動の趣旨を述べ、これを町民運動として強力に展開し、町民の生産と所得の向上を図りたいと思います。

一、趣旨

最近におけるわが国の経済は著しい発展を続け農業と他産業との生産性と所得の格差はますます拡大の傾向にあります。本町の農業は自然の、経済的、社会的にも不利な条件のものに限る。

水稲もち 五二五円
陸稲もち 二七五円

上記からそれぞれ二四〇円を差引いた価格

予約額算金 1俵につき 一、〇〇〇円(支払中)
予約申込みは 9月21日まで

香奠返し

町社会福祉協議会へ

一金壹千円也 故北迫 清棟
一金参千円也 故北迫 エイ殿
住吉 正男殿
故村田 政吉殿
故村田 健一殿
故村田 健二殿
故村田 健三殿
故村田 健四殿
故村田 健五殿
故村田 健六殿
故村田 健七殿
故村田 健八殿
故村田 健九殿
故村田 健十殿
故村田 健十一殿
故村田 健十二殿
故村田 健十三殿
故村田 健十四殿
故村田 健十五殿
故村田 健十六殿
故村田 健十七殿
故村田 健十八殿
故村田 健十九殿
故村田 健二十殿
故村田 健二十一殿
故村田 健二十二殿
故村田 健二十三殿
故村田 健二十四殿
故村田 健二十五殿
故村田 健二十六殿
故村田 健二十七殿
故村田 健二十八殿
故村田 健二十九殿
故村田 健三十殿
故村田 健三十一殿
故村田 健三十二殿
故村田 健三十三殿
故村田 健三十四殿
故村田 健三十五殿
故村田 健三十六殿
故村田 健三十七殿
故村田 健三十八殿
故村田 健三十九殿
故村田 健四十殿
故村田 健四十一殿
故村田 健四十二殿
故村田 健四十三殿
故村田 健四十四殿
故村田 健四十五殿
故村田 健四十六殿
故村田 健四十七殿
故村田 健四十八殿
故村田 健四十九殿
故村田 健五十殿
故村田 健五十一殿
故村田 健五十二殿
故村田 健五十三殿
故村田 健五十四殿
故村田 健五十五殿
故村田 健五十六殿
故村田 健五十七殿
故村田 健五十八殿
故村田 健五十九殿
故村田 健六十殿
故村田 健六十一殿
故村田 健六十二殿
故村田 健六十三殿
故村田 健六十四殿
故村田 健六十五殿
故村田 健六十六殿
故村田 健六十七殿
故村田 健六十八殿
故村田 健六十九殿
故村田 健七十殿
故村田 健七十一殿
故村田 健七十二殿
故村田 健七十三殿
故村田 健七十四殿
故村田 健七十五殿
故村田 健七十六殿
故村田 健七十七殿
故村田 健七十八殿
故村田 健七十九殿
故村田 健八十殿
故村田 健八十一殿
故村田 健八十二殿
故村田 健八十三殿
故村田 健八十四殿
故村田 健八十五殿
故村田 健八十六殿
故村田 健八十七殿
故村田 健八十八殿
故村田 健八十九殿
故村田 健九十殿
故村田 健九十一殿
故村田 健九十二殿
故村田 健九十三殿
故村田 健九十四殿
故村田 健九十五殿
故村田 健九十六殿
故村田 健九十七殿
故村田 健九十八殿
故村田 健九十九殿
故村田 健百殿

香奠返し

町社会福祉協議会へ

一金壹千円也 故北迫 清棟
一金参千円也 故北迫 エイ殿
住吉 正男殿
故村田 政吉殿
故村田 健一殿
故村田 健二殿
故村田 健三殿
故村田 健四殿
故村田 健五殿
故村田 健六殿
故村田 健七殿
故村田 健八殿
故村田 健九殿
故村田 健十殿
故村田 健十一殿
故村田 健十二殿
故村田 健十三殿
故村田 健十四殿
故村田 健十五殿
故村田 健十六殿
故村田 健十七殿
故村田 健十八殿
故村田 健十九殿
故村田 健二十殿
故村田 健二十一殿
故村田 健二十二殿
故村田 健二十三殿
故村田 健二十四殿
故村田 健二十五殿
故村田 健二十六殿
故村田 健二十七殿
故村田 健二十八殿
故村田 健二十九殿
故村田 健三十殿
故村田 健三十一殿
故村田 健三十二殿
故村田 健三十三殿
故村田 健三十四殿
故村田 健三十五殿
故村田 健三十六殿
故村田 健三十七殿
故村田 健三十八殿
故村田 健三十九殿
故村田 健四十殿
故村田 健四十一殿
故村田 健四十二殿
故村田 健四十三殿
故村田 健四十四殿
故村田 健四十五殿
故村田 健四十六殿
故村田 健四十七殿
故村田 健四十八殿
故村田 健四十九殿
故村田 健五十殿
故村田 健五十一殿
故村田 健五十二殿
故村田 健五十三殿
故村田 健五十四殿
故村田 健五十五殿
故村田 健五十六殿
故村田 健五十七殿
故村田 健五十八殿
故村田 健五十九殿
故村田 健六十殿
故村田 健六十一殿
故村田 健六十二殿
故村田 健六十三殿
故村田 健六十四殿
故村田 健六十五殿
故村田 健六十六殿
故村田 健六十七殿
故村田 健六十八殿
故村田 健六十九殿
故村田 健七十殿
故村田 健七十一殿
故村田 健七十二殿
故村田 健七十三殿
故村田 健七十四殿
故村田 健七十五殿
故村田 健七十六殿
故村田 健七十七殿
故村田 健七十八殿
故村田 健七十九殿
故村田 健八十殿
故村田 健八十一殿
故村田 健八十二殿
故村田 健八十三殿
故村田 健八十四殿
故村田 健八十五殿
故村田 健八十六殿
故村田 健八十七殿
故村田 健八十八殿
故村田 健八十九殿
故村田 健九十殿
故村田 健九十一殿
故村田 健九十二殿
故村田 健九十三殿
故村田 健九十四殿
故村田 健九十五殿
故村田 健九十六殿
故村田 健九十七殿
故村田 健九十八殿
故村田 健九十九殿
故村田 健百殿

香奠返し

町社会福祉協議会へ

一金壹千円也 故北迫 清棟
一金参千円也 故北迫 エイ殿
住吉 正男殿
故村田 政吉殿
故村田 健一殿
故村田 健二殿
故村田 健三殿
故村田 健四殿
故村田 健五殿
故村田 健六殿
故村田 健七殿
故村田 健八殿
故村田 健九殿
故村田 健十殿
故村田 健十一殿
故村田 健十二殿
故村田 健十三殿
故村田 健十四殿
故村田 健十五殿
故村田 健十六殿
故村田 健十七殿
故村田 健十八殿
故村田 健十九殿
故村田 健二十殿
故村田 健二十一殿
故村田 健二十二殿
故村田 健二十三殿
故村田 健二十四殿
故村田 健二十五殿
故村田 健二十六殿
故村田 健二十七殿
故村田 健二十八殿
故村田 健二十九殿
故村田 健三十殿
故村田 健三十一殿
故村田 健三十二殿
故村田 健三十三殿
故村田 健三十四殿
故村田 健三十五殿
故村田 健三十六殿
故村田 健三十七殿
故村田 健三十八殿
故村田 健三十九殿
故村田 健四十殿
故村田 健四十一殿
故村田 健四十二殿
故村田 健四十三殿
故村田 健四十四殿
故村田 健四十五殿
故村田 健四十六殿
故村田 健四十七殿
故村田 健四十八殿
故村田 健四十九殿
故村田 健五十殿
故村田 健五十一殿
故村田 健五十二殿
故村田 健五十三殿
故村田 健五十四殿
故村田 健五十五殿
故村田 健五十六殿
故村田 健五十七殿
故村田 健五十八殿
故村田 健五十九殿
故村田 健六十殿
故村田 健六十一殿
故村田 健六十二殿
故村田 健六十三殿
故村田 健六十四殿
故村田 健六十五殿
故村田 健六十六殿
故村田 健六十七殿
故村田 健六十八殿
故村田 健六十九殿
故村田 健七十殿
故村田 健七十一殿
故村田 健七十二殿
故村田 健七十三殿
故村田 健七十四殿
故村田 健七十五殿
故村田 健七十六殿
故村田 健七十七殿
故村田 健七十八殿
故村田 健七十九殿
故村田 健八十殿
故村田 健八十一殿
故村田 健八十二殿
故村田 健八十三殿
故村田 健八十四殿
故村田 健八十五殿
故村田 健八十六殿
故村田 健八十七殿
故村田 健八十八殿
故村田 健八十九殿
故村田 健九十殿
故村田 健九十一殿
故村田 健九十二殿
故村田 健九十三殿
故村田 健九十四殿
故村田 健九十五殿
故村田 健九十六殿
故村田 健九十七殿
故村田 健九十八殿
故村田 健九十九殿
故村田 健百殿

秀吉の島津征伐 天下統一の一環として天正十五年三月、豊臣秀吉は島津征伐を行いました。島津軍は之を宮崎方面では根白坂に迎撃しましたが利あらず一方熊本方面からは十六万の大軍が佐敷から数千艘の軍船で出水に進撃してきましたので、出水領主島津忠辰は戦わずして降伏しました。

秀吉軍は勢いに乗じて、川内の猫嶽から進んで泰平寺に布陣しました。太守義久は抗すべからざるを知り、五月六日、伊集院の雪窓院で頭をそり、泰平寺の秀吉の許に赴き降伏しました。しかし、この間、あくまで秀吉に一泡ふかせようと降伏の志を持たなかった薩摩軍人が三人ありました。平佐城主の桂樹忠助と宮之城領主島津金吾歳久、大口領主新納忠元がこれでありました。

このうち 島津歳久は梅北国兼等と関係がありその戦死遺蹟も龍ヶ水にありますがのさばる歳久について書いてみましょう。

歳久は病氣だといつて、なかなか泰平寺の秀吉の許へ降伏に出て行きませんでした。いよ／＼秀吉軍は川内を襲って東へ凱旋しようとし、山崎に駐陣しましたが、歳久の動向を偵察する為、五十人は

吉暗殺の計画を聞きとるに反対しました。もし事が発覚したら、今名護屋に在る太守義久公の命が危ないではないかというので、國兼は彼等に、「一に心配するな。もし義久公が、為に殺されるような事があれば、まだ困元次第の歳久公があるではないか。歳久公をたてて太守とするまでよ」と云いきるのです。三将もこれに同意しましたが、いつわってクーデター参加を承知し、さつさと豊岐から朝鮮に渡海してしましました。國兼は直ちに行動を起し、熊本の佐敷城を攻めとりついで八代を二手に分けて、田尻但馬が一方の將となり、まず松波瀬を焼き小川に兵を進めて八代城に攻入るうとした。八代の郡將、松浦筑前は、おそかに兵を集め、小川を急襲して但馬とその子、荒二郎、荒五郎の三人を殺しました。田尻の部下は散れて佐敷にのがれましたが、松浦勢に追いつめられ、赤松太郎ごえで百余人を殺されてしまいました。

一方、國兼の方は、佐敷城の重臣、境左衛門、安田弥左衛門が兵をひきいて、いつわって降参したので、佐敷城に難なくはいれました。境や安田は美女を集め

島津金吾歳久と梅北宮内左衛門尉國兼 山田小学校 松永守道

そこをねらって、歳久の家臣、平戸に居り、諸將が次々に渡海し、本田五郎左衛門は、秀吉の公を名護屋が手やすくなるのを待ち、秀吉を殺して、先年の島津征伐のうらみをはらそうと考へ義久公の命をたて、いつわって薩摩の諸將を集め、早連会をした田尻軍に居り、かごの中は石が一こぼし、伊集院三河は固いターデーソンの密約を結びました。こうして、秀吉はこれから脚出に出て、大田の天宮が尾で、新納忠元と会見し、名護屋にきてみると、さつと平戸の有名、舞臺の歌の比喩になるのであります。秀吉は六月末、京の國兼の許へ呼ばれましたが、秀

昭和三十八年度より県や町が農村三作運動を推進してきていますが、あらためてこの運動の趣旨を述べ、これを町民運動として強力に展開し、町民の生産と所得の向上を図りたいと思います。

一、趣旨

最近におけるわが国の経済は著しい発展を続け農業と他産業との生産性と所得の格差はますます拡大の傾向にあります。本町の農業は自然の、経済的、社会的にも不利な条件のものに限る。

水稲もち 五二五円
陸稲もち 二七五円

上記からそれぞれ二四〇円を差引いた価格

予約額算金 1俵につき 一、〇〇〇円(支払中)
予約申込みは 9月21日まで

昭和三十八年度より県や町が農村三作運動を推進してきていますが、あらためてこの運動の趣旨を述べ、これを町民運動として強力に展開し、町民の生産と所得の向上を図りたいと思います。

一、趣旨

最近におけるわが国の経済は著しい発展を続け農業と他産業との生産性と所得の格差はますます拡大の傾向にあります。本町の農業は自然の、経済的、社会的にも不利な条件のものに限る。

水稲もち 五二五円
陸稲もち 二七五円

上記からそれぞれ二四〇円を差引いた価格

予約額算金 1俵につき 一、〇〇〇円(支払中)
予約申込みは 9月21日まで

昭和三十八年度より県や町が農村三作運動を推進してきていますが、あらためてこの運動の趣旨を述べ、これを町民運動として強力に展開し、町民の生産と所得の向上を図りたいと思います。

一、趣旨

最近におけるわが国の経済は著しい発展を続け農業と他産業との生産性と所得の格差はますます拡大の傾向にあります。本町の農業は自然の、経済的、社会的にも不利な条件のものに限る。

水稲もち 五二五円
陸稲もち 二七五円

上記からそれぞれ二四〇円を差引いた価格

予約額算金 1俵につき 一、〇〇〇円(支払中)
予約申込みは 9月21日まで

昭和三十八年度より県や町が農村三作運動を推進してきていますが、あらためてこの運動の趣旨を述べ、これを町民運動として強力に展開し、町民の生産と所得の向上を図りたいと思います。

一、趣旨

最近におけるわが国の経済は著しい発展を続け農業と他産業との生産性と所得の格差はますます拡大の傾向にあります。本町の農業は自然の、経済的、社会的にも不利な条件のものに限る。

水稲もち 五二五円
陸稲もち 二七五円

上記からそれぞれ二四〇円を差引いた価格

予約額算金 1俵につき 一、〇〇〇円(支払中)
予約申込みは 9月21日まで

昭和三十八年度より県や町が農村三作運動を推進してきていますが、あらためてこの運動の趣旨を述べ、これを町民運動として強力に展開し、町民の生産と所得の向上を図りたいと思います。

一、趣旨

最近におけるわが国の経済は著しい発展を続け農業と他産業との生産性と所得の格差はますます拡大の傾向にあります。本町の農業は自然の、経済的、社会的にも不利な条件のものに限る。

水稲もち 五二五円
陸稲もち 二七五円

上記からそれぞれ二四〇円を差引いた価格

予約額算金 1俵につき 一、〇〇〇円(支払中)
予約申込みは 9月21日まで

昭和三十八年度より県や町が農村三作運動を推進してきていますが、あらためてこの運動の趣旨を述べ、これを町民運動として強力に展開し、町民の生産と所得の向上を図りたいと思います。

一、趣旨

最近におけるわが国の経済は著しい発展を続け農業と他産業との生産性と所得の格差はますます拡大の傾向にあります。本町の農業は自然の、経済的、社会的にも不利な条件のものに限る。

水稲もち 五二五円
陸稲もち 二七五円

上記からそれぞれ二四〇円を差引いた価格

予約額算金 1俵につき 一、〇〇〇円(支払中)
予約申込みは 9月21日まで

昭和三十八年度より県や町が農村三作運動を推進してきていますが、あらためてこの運動の趣旨を述べ、これを町民運動として強力に展開し、町民の生産と所得の向上を図りたいと思います。

一、趣旨

最近におけるわが国の経済は著しい発展を続け農業と他産業との生産性と所得の格差はますます拡大の傾向にあります。本町の農業は自然の、経済的、社会的にも不利な条件のものに限る。

水稲もち 五二五円
陸稲もち 二七五円

上記からそれぞれ二四〇円を差引いた価格

予約額算金 1俵につき 一、〇〇〇円(支払中)
予約申込みは 9月21日まで